2/20に行われた産学連携支援事業最終発表報告会が、
2/21中日新聞と2/21中部経済新聞に掲載されました。

2/21 中日新聞

HPづくりで中小支援

半年の成果 大学生披露 浜松

大学生が中小企業のホームページ（HP）づくりにかかわる浜松商工会議所産学連携支援事業の最終報告会が二十日、浜松市中区の同会議所であり、静岡大情報学部と静岡文化芸術大デザイン学部の学生計八人が手掛けたHPを披露した。（写真）

経済産業省の「IT・甘酒製造業「林糀製造所」（同区春町）の商工会議所産学連携支援隊事業」の一環。ITHPづくりを支援。企画立案から経営者への信する機会の少ない事業者を手助けすると同時に、学生に実際の事業に乗り出す経験をさせることなどが狙い。

学生たちは昨年九月から、鍵や刃物を加工販売する「鍋屋」（浜松市中区田町）、みそ

2/21 中部経済新聞

学生の視点を老舗のHPに

浜松会議所が支援事業

経営に学生の視点を―。浜松商工会議所（御薬袋一郎会頭）は会員企業の経営をサポートするため、地元大学と連携してホームページ（HP）作成を支援する事業を始めた。IT技術を活用できない中小企業に代わって学生がHPを作成し、企業の知名度アップに役立ててもらう狙い。二十日には学生によるプレゼンテーションが行われ、企業関係者らとその出来栄えを披露した。（浜松・今井麟）

HPのコンセプトを説明する学生ら

見やすく斬新 プレゼン好評

会員支援を目的に昨年九月、産学連携支援事業として立ち上げた。今回対象の事業所は、興味の湧きやすいとの狙いから「飲食」「製造」「観光」の三分野。

「見やすさ」「斬新さ」を求めて、「最終報告会を兼ねたプレゼンテーションには、両社とも製造の「創業」を超える老舗企業なためか、依頼した経営者からは「学生たちにかけてくれなかったという。

HPの作成に当たったのは地元の静岡大学情報学部（浜松市）と静岡文化芸術大学（同）の学生ルポイントやターゲット層を明確にし、機能やデザインを決めていった。

「最終報告会を兼ねたプレゼンテーションには、外講師の一人として昨年十月、四人ずつの二チームに分かれて作成に着手。企業成材を通じてアピールポイントやターゲット層を明確にし、機能やデザインを決めていった。

「最終報告会を兼ねたプレゼンテーションには、外講師の一人として昨年十月、四人ずつの二チームに分かれて作成に着手。企業成材を通じてアピールポイントやターゲット